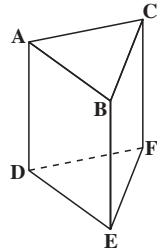


右の図のような三角柱 $ABC-DEF$ が中心 O 、半径 1 の球に内接している。すなわち、三角柱の頂点 A, B, C, D, E, F はすべて、中心 O 、半径 1 の球面上にある。また、三角形 ABC と三角形 DEF は合同な正三角形で、四角形 $ADEB$ 、四角形 $BEFC$ 、四角形 $CFDA$ は合同な長方形であるとする。



$\angle AOD = 2\alpha$ 、 $\angle AOB = 2\beta$ とおく。ただし、 $0^\circ < \alpha < 90^\circ$ 、 $0^\circ < \beta < 60^\circ$ とする。

(1) $\frac{\sin\beta}{\cos\alpha}$ の値を求めよ。

(2) 三角柱 $ABC-DEF$ の体積 V を α を用いて表せ。

(大阪市大*)

ヒント! (1) $\triangle OAD$ と $\triangle OAB$ について考えると話が見えてくるはずだ。

(2) では、(1) の結果を利用して、三角柱 $ABC-DEF$ の体積 V を $\sin\alpha$ と $\cos\alpha$ で表すことができる。空間図形の応用問題だけれど頑張って解いてみよう。

(1) 半径 1 の球に内接する三角柱 $ABC-DEF$ の図を下に示す。

・ $\triangle OAD$

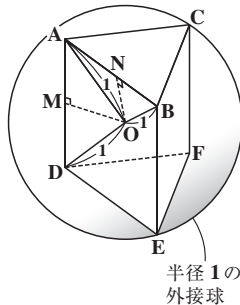
について
考えると

OA と OD
は外接球
の半径 1
に等しい
ので、

$OA = OD = 1$

よって、 $\triangle OAD$ は、

二等辺三角形である。ここで、



点 O より辺 AD

に下した垂線の

足を M とおくと、

$\triangle OAM$ は、

$\angle AOM = \alpha$ 、

$\angle AMO = 90^\circ$ の

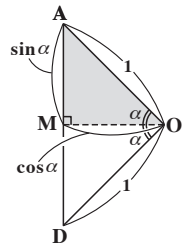
直角三角形より、

$AM = \sin\alpha$ ……①

$OM = \cos\alpha$ ……②

①より、 $AD = 2AM = 2\sin\alpha$ ……③

となる。



$$\frac{AM}{1} = \sin\alpha$$

$$\frac{OM}{1} = \cos\alpha$$